

「IJSHS」投稿の手引き

1. 投稿

1.1. 「IJSHS」では投稿および審査をすべてオンライン上で行うため、投稿は下記ウェブサイトアクセスし、「投稿画面」に従い投稿すること。

<https://www.editorialmanager.com/ijshs/>

1.2. 投稿には、別に定める「IJSHS」投稿規程を参照すること。

1.3. 本委員会より修正を求められた論文は 60 日以内に再提出することとし、60 日を超えて再提出された場合には新たに投稿された論文として受付ける。

1.4. 「早期公開」した論文に関して、「本公開」までに見つかった誤りは、編集委員長の承認の下に訂正し、訂正版を本公開できることとする。

1.4.1. 論文の「本公開」の後に見つかった誤りは、編集委員長の承認による「訂正記事」によって訂正することとする。

2. 使用ソフト

2.1. 投稿論文、図表のアップロードに際して、投稿画面の自動 Build PDF 機能で使用できるソフトは Word、WordPerfect、RTF、TXT、LaTeX2e、AMSTeX、TIFF、GIF、JPEG、EPS、Postscript、PICT、PDF、Excel、PowerPoint とする。ファイルサイズの制限はない。

2.2. 動画をアップロードする際、使用ソフトの指定、ファイルサイズの制限はない。ただし投稿画面の自動 Build PDF 機能で「Video」を必ず選択しアップロードすること。
また公平な審査を期すため、動画のファイル名、ファイルのプロパティなどに著者名が特定できるような個人情報の記載がないよう注意すること。

3. 連絡責任者

編集委員会との連絡を行う責任者を 1 人執筆者の中から指定すること。

4. 投稿原稿の構成

4.1. 原稿は標題・ランニングタイトル・アブストラクト・キーワード・本文・参考文献・図表・個々の図版の説明文で構成すること。

4.2. 公平な審査を期すため、原稿には著者名、所属先、連絡先などを記載しないこと。

4.3. 謝辞・付記などは原稿「受理」後に書き加えることとし、投稿時の原稿には記載しないこと。

5. 投稿原稿の内容

5.1. 標題

- 5.1.1. 内容を的確に説明する簡潔な標題とすること。“の観察”、“特定の(ある)”、“研究”等の語は、編集者により削除される場合がある。
- 5.1.2. 副題をつける場合は、コロン(;)で続けること。
- 5.1.3. 標題・ランニングタイトルでは、前置詞・冠詞・接続詞をのぞく語はすべて大文字で始めること。
- 5.1.4. ランニングタイトルはスペースを含めて50~60字以内とすること。

5.2. アブストラクトとキーワード

- 5.2.1. アブストラクトは、200語程度の概要を簡潔に且つ事実に基づき記述すること。
- 5.2.2. キーワードは、論文の内容や特色を的確に示し、検索に役立ち得るものとする。3語以上5語以内。

5.3. 本文

- 5.3.1. 余白は上下左右各25mm以上とし、フォントは12ポイントとすること。
- 5.3.2. 本文には、ページ数、各ページ毎の行番号を明記すること。
- 5.3.3. 論文は宣伝的性格のものであってはならない。商標名ではなく一般名を使用すること。
- 5.3.4. 一般的によく知られていない特定の製品・製造法・装置等については、できるだけ詳細な説明、機種番号・製造者・住所を脚注に記載すること。
- 5.3.5. 原則として節・項・ヘディング・サブヘディングは以下の分類による。
 - Section: 1. 2. 3.
 - Subsection: 1.1., 1.2., 1.3.
 - Heading: 1.1.1., 1.1.2., 1.1.3.
 - Subheading: (1),(2), (3)
- 5.3.6. 一般的でない技術用語は省略形を使わないこと。
- 5.3.7. 元素・合金・化合物名の表記用に化学物質名・化学式の使用は許される。
- 5.3.8. 分数表記は原則として次のような表記にする。
但し、簡略法として次のような1行に収まる方式を使用してもよい。

$$\frac{a}{b} \frac{(a+b)}{(c+d)} \Rightarrow a/b \quad (a+b)/(c+d)$$

- 5.3.9. 数学記号・下付・上付等はすべてはっきりした表記にすること。
- 5.3.10. 年号には西暦を使うこと。

5.4. 引用

- 5.4.1. 論文の中で文献を引用する場合には、基本的な文献を厳選し、正確に引用する。本文中

の文献は原則として著者名と発行年で示すこと。

5.4.2. 本文中で文献の一部を引用するときは、引用した語句または文章を“ ”でくくると。

5.4.3. 著者が2名の場合、“and”を用いてつなぎ、著者が3名以上の場合“et al.”を用いること。

“…” (Park and Harris, 1998)

“…” (Harris et al., 1998)

5.4.4. 本文中で参照した文献を明記する場合には、次のような形で著者名と発行年を記入すること。同一著者の文献が複数ある場合には、括弧内の発行年をコンマ(,)でつなぐこと。同一著者の同一年に発行された複数の論文は発行年の後に a, b, c, …をつけて区別すること。

According to Harris (1996), …

According to Park and Harris (1996, 1998), …

According to Harris (1995, 1997a, 1997b), …

5.5. 参考文献 (References)

本文中に引用した文献に限る。

5.5.1. 文献の書誌データの表記は、著者名、発行年、論文タイトル、雑誌名、巻数、開始ページと終了ページの順とする。著者名の前には連番をつけず、掲載順はアルファベット順とする。

著者名は、姓 (family name), 名 (first name, middle name) の頭文字の順で表記し、発行年を著者名のすぐ後の () 内に記入する (author-date 法)。誌名を表記する際の書体は立体とし、その雑誌に指定された略記法、または広く慣用的に用いられている略記法に従う。号数は記載しない。

5.5.2. インターネットによるアクセス先を記載する場合は、アクセスした日付を必ず明記すること。

5.5.3. 文献の書誌データの区切り記号は、以下の例にならい正しく表記する。

Andre, T. (1986). Problem solving and education. In G. D. Phye & T. Andre (eds.), *Cognitive classroom learning: Understanding, thinking, and problem solving* (pp. 169-204). New York: Academic Press.

Endo, T., Tauchi, K., and Ogata, M. (2008). Development of running and footwork abilities from a viewpoint of jumping ability characteristics. *Int. J. Sport Health Sci.*, 6: 120-127.

MEXT (2009). The New Course of Study in higher school.

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/youryou/1282000.htm.

(accessed 2008-08-25).

- 5.5.4. 英語以外の言語による文献の場合には、タイトルを英訳し、[]で囲って示す。
可能な場合には、原語またはローマ字表記したタイトルを英訳タイトルの前に書く。
最後に原文の言語を () 内に書く。

Nakamura, T. (2010). Gakusei yakyu kensho towa nanika: Jichi kara miru nihon yakyushi [What is the Japan Student Baseball Charter? : Japan baseball history in the light of autonomy]. Tokyo: Seikyusha. (in Japanese)

- 5.5.5. 翻訳書の参考文献は、以下の例を参照し翻訳の詳細も明記すること。
また、本文中で引用する際は、(Armstrong, 2010/2012) と記載すること。

Armstrong, A. (2012). スポーツと体育科教育 (G.Onigawara Trans.). Tokyo:Gakumon Press. (Original work "Sports and physical education" published 2010)

- 5.5.6. 正式に発刊される前の早期公開記事や電子形式による刊行物を参考文献とする場合は、以下の例を参照し DOI (Digital Object Identifier デジタルオブジェクト識別子) を明記する。

Endo, T., Tauchi, K., and Ogata, M. (2008). Development of running and footwork abilities from a viewpoint of jumping ability characteristics. Int. J. Sport Health Sci., doi: 10.1111/j.1475-6781.2008.00116.x.

5.6. 注記

- 5.6.1. 注は本文あるいは図表で説明するのが適切ではなく、しかも補足的に説明することが明らかに必要なときのみ用いること。またその数は最小限にとどめること。
5.6.2. 注をつける場合は、本文のその箇所に*1, *2のように通し番号をつけ、文献表の前に Note として番号順に一括して記載すること。

5.7. 図表および写真

- 5.7.1. 写真は図に分類されるものとする。
5.7.2. 図・表ごとに連番をつけること。(例 Figure1, Figure2, Table1, Table2)

5.7.3. キャプションは、最初の語のみ大文字を使用すること。

5.7.4. 各図表には、本文を参照しなくても理解できる情報を得られるだけの簡潔な見出しをつけること。

[平成 14 年 11 月 16 日]

[平成 15 年 8 月 11 日 一部改正]

[平成 21 年 12 月 14 日 一部改正]

[平成 22 年 6 月 28 日 一部改正]

[平成 23 年 5 月 1 日 一部改正]

[平成 24 年 5 月 12 日 一部改正]

[平成 26 年 4 月 30 日 一部改正]

[平成 27 年 3 月 17 日 一部改正]

[2017 年 6 月 10 日 一部改正]